

畜産クラスターを後押しする草地整備の推進 <公共>

【令和4年度補正予算額 3,464百万円】

<対策のポイント>

肉用牛・酪農の生産基盤強化のため畜産クラスター計画を策定した地域において、飼料作物の単位面積当たりの収量の増加、生産コストの削減に資する草地の大区画化等のハード整備を推進します。

<事業目標>

飼料作物の単位面積当たりの収量の増加（25%以上）

<事業の内容>

1. 大型機械化体系に対応した草地整備事業

大型機械による効率的な飼料生産を一層推進するため、**草地・畑の一体的整備、草地の大区画化、排水不良の改善等**を推進します。

主な工種：区画整理、暗渠排水 等

- ・公共牧場整備事業：受益面積60ha以上等
- ・再編整備事業：受益面積30ha以上等
- ※草地と一体的に整備する場合にあっては、家畜排せつ物処理施設整備に併せペレット化施設整備を追加。

2. 家畜ふん尿を活用した肥培かんがい施設の整備

家畜ふん尿を発酵しスラリーとして有効活用するための**肥培かんがい施設等の整備**を推進します。

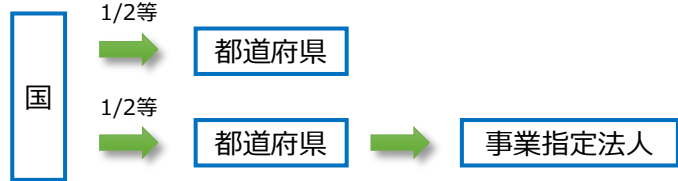
主な工種：肥培かんがい施設、排水施設 等

3. 泥炭地帯における草地の排水不良の改善

土壌の特殊性に起因する地盤の沈下による**草地の湛水被害等に対処する整備**を推進します。

主な工種：整地、暗渠排水、排水施設 等

<事業の流れ>



※ 事業の一部は、直轄で実施(国費率2/3等)

<事業イメージ>

<整備前>

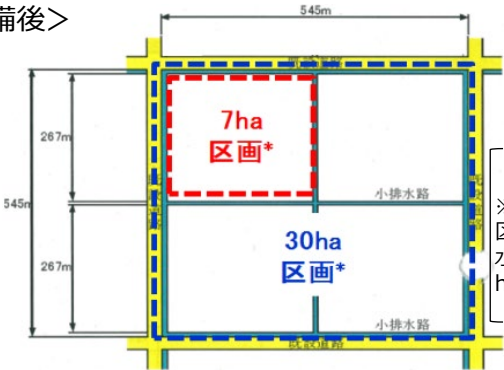


現況の自然水路に合わせて整備



個人所有の農業機械による作業

<整備後>



大区画による効率的な飼料生産



山なりに合わせて整備



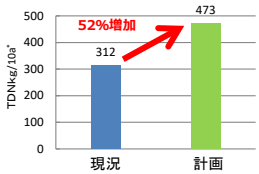
大型作業機械による作業



生産性向上のため、緩傾斜に整地

※小排水路が不要な地区は30ha区画、小排水路が必要な地区は7ha程度の区画

飼料作物の単位面積当たり収量



※ 対象地区（112地区）における計画値の平均値

* TDNとは、飼料作物中の可消化養分のことをいい、TDNkg/10a は栄養価ベースの収量を指す

【お問い合わせ先】

（1の事業）	畜産局飼料課	（03-6744-2399）
	農村振興局農地資源課	（03-6744-2207）
（2の事業）	水資源課	（03-3502-6244）
（3の事業）	防災課	（03-3502-6430）